

『無垢』 作：ポチ子

『無垢』 作：ポチ子

無垢はいずれ汚れる。

まだ何にも染まっていない。

無垢なんてそれだけのことだ。

無垢を手に入れようとすれば、

あんたの手垢にまみれた、

何かが生まれるだけ。

洗ったってとれるもんじゃない。

それはあんたも知っているでしょう？

新品のシャツも、

『無垢』 作：ポチ子

何度か洗えば黄ばむように、

色移りするように、

無垢だって、

いずれは黄ばんで汚れてく。

汚れたら捨てて、

また新しい無垢を探す。

白くあり続けるなんて、

透明なままなんて、

そんなもの、

ありはしないんだから。